

# 世界に向けた ライフイノベーションを 京都から

京都市では、バイオ産業を21世紀の京都産業を支える大きな柱と位置付け、「京都バイオシティ構想」に基づきバイオ分野の研究開発支援、産学公連携事業、販路開拓支援などを公益財団法人京都高度技術研究所と連携して進めています。

平成25年度からは、「関西イノベーション国際戦略総合特区」に係る事業を推進するため、特区専任コーディネータの配置、助成事業の拡充等を行い、市内特区区域で取り組む医療機器開発、創薬、先制医療、再生医療等の先端医療分野の研究開発を重点的に支援しています。

この度、京都発のイノベーションや新しい産業の創出につながるヒントを提供する目的で、各方面において最先端の研究開発に取り組む講師の皆様をお迎えし、医工薬融合領域や産学連携等による取組の事例をご紹介いただくシンポジウムを開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

**2013.11.7 木**  
14:00~17:30 受付・開場 13:30~

定員100名  
(先着順)  
参加無料

京都大学医学部創立百周年記念施設  
**芝蘭会館山内ホール**  
(京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内)



## 座長

公益財団法人京都高度技術研究所  
プロジェクトディレクター 谷田 清一氏

## プログラム

14:00 開会(あいさつ)

14:10 講演①

「医用画像3Dビューワの開発と手術シミュレーション」

公益財団法人京都高度技術研究所 コーディネータ  
／奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授 湊 小太郎氏

14:55 講演②

「日本の産学連携により発見された新規MEK阻害剤trametinibの開発」

京都府立医科大学 分子標的癌予防医学教授 酒井 敏行氏

15:40 <休憩15分>

15:55 講演③

「次世代医療を切り拓く核酸医薬品」

日本新薬株式会社 研究開発本部 東部創薬研究所長 森 和哉氏

16:40 講演④

「iPS細胞技術を用いた新たな医療の可能性」

京都大学iPS細胞研究所 准教授 井上 治久氏

17:25 閉会(あいさつ)

申込みは **WEB** または **FAX** で 申込締切:10月31日(木)

**URL** <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/symposium20131107>

**FAX** 075-315-3614 裏面申込書にご記入のうえ、送信ください。

詳細は裏面をご覧ください

主催 京都市／公益財団法人京都高度技術研究所  
後援 京都大学大学院医学研究科／京都大学大学院薬学研究所／  
京都大学iPS細胞研究所／京都府立医科大学／経済産業省近畿経済産業局／  
京都府／京都商工会議所／公益社団法人京都工業会／  
NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議／京都産学公連携機構／  
京都産業育成コンソーシアム (予定を含む)

お問合せ

公益財団法人京都高度技術研究所 産学連携事業部  
医工薬産学公連携支援グループ

TEL:075-315-3625 FAX:075-315-3614 E-mail:ikouyaku@astem.or.jp  
URL: <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical>



20000128(03)

# 世界に向けた ライフイノベーションを京都から

第3回 医工薬産学公連携支援シンポジウム

## 医用画像3Dビューワの開発と手術シミュレーション

公益財団法人京都高度技術研究所 コーディネータ  
／奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授 湊 小太郎 氏

X線CTやMRIなど画像診断機器の進歩に伴って、臨床的にも大量の医用画像が取得されるようになり、膨大なデータの可視化や情報技術による診療支援が必要になってきた。本講演では、患者画像の三次元表示に加え、臓器の変形や骨の切削シミュレーション機能を有する新しい3Dビューワの開発経験と、その脊柱管狭窄症内視鏡下手術への応用について説明する。

## 日本の産学連携により発見された新規MEK阻害剤trametinibの開発

京都府立医科大学 分子標的癌予防医学 教授 酒井 敏行 氏

日本の産学連携による新薬が上市されることは極めて稀であるといわれるが、それは癌の分子標的薬においてより一層強調される。

今回、演者が創案した「RB再活性化スクリーニング」をJT医薬総合研究所が採用することにより発見された新規MEK阻害剤trametinibが、進行性BRAF変異メラノーマ患者を対象に、初めてのMEK阻害剤として米国で認可されたので、本講演においてその開発経緯を述べる。

## 次世代医療を切り拓く核酸医薬品

日本新薬株式会社 研究開発本部 東部創薬研究所長 森 和哉 氏

バイオ医薬品に次ぐ次世代の医薬として期待を集めているのが核酸医薬である。核酸医薬とは、DNAやRNAあるいはその誘導体を利用した医薬品であり、疾患の原因となる特定のDNAやmRNAに特異的に作用し、その発現を制御したり特定分子の機能を阻害する等、従来の医薬品とは全く異なる作用機序を有する。本講演ではこの核酸医薬品の概要と開発状況等について解説する。

## iPS細胞技術を用いた新たな医療の可能性

京都大学 iPS細胞研究所 准教授 井上 治久 氏

2006年に誕生したiPS細胞とその作製技術は、疾患の病態解明・治療薬開発のみならず、発症前に病態を高精度に予測し、先制的な治療介入に役立つ可能性がある。本講演では、演者達が取り組んでいるアルツハイマー病等、神経変性疾患の研究を紹介し、iPS細胞技術を用いた新たな医療の可能性について述べる。

### 申込方法

申込締切 平成25年10月31日(木)

WEB申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください。FAXにて申込みされる場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、個人情報の提供に同意の旨を明記して、下記FAX番号へお申し込みください。

申込先 ▶ 公益財団法人京都高度技術研究所 産学連携事業部 医工薬産学公連携支援グループ

URL: <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/symposium20131107>

FAX: 075-315-3614

※定員になり次第締切らせていただきます。

※申込みいただいた方にご連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。また、参加証の発行はいたしません。定員の都合上、ご参加いただけない場合にのみご連絡させていただきます。

フリガナ		TEL / FAX	
お名前			
ご所属 (企業、大学、機関等)		E-mail アドレス	
部署・役職			

### 事務局における個人情報の取扱いについて

FAX申込書において知り得た個人情報は、以下のとおり取扱わせていただきます。

下記「個人情報の取扱いについて」を確認し、同意のうえ申し込みます。

同意する (チェック  をお願いします。)

#### 1. 個人情報の利用目的

本申込書にご記入いただきました貴殿の個人情報は、主催者で管理させていただきます。本イベントの運営にかかわる資料の作成、当事務局からのご連絡、及び今後当財団が主催、共催または後援する催事のご案内に利用させていただきます。

#### 2. 個人情報の提供について

本事業は、京都市の委託事業であり、事業実施報告のため、ご氏名・ご所属等を京都市に提供することがあります。

#### 3. 個人情報の委託について

第三者に貴殿の個人情報を委託することはありません。

#### 4. 開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続きにより、合理的な期間および範囲で通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。6の問合せ先へご連絡ください。

#### 5. 個人情報を記入するにあたっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本イベントへの参加をお断りする場合があります。

#### 6. 個人情報保護管理者と問合せ先

<事業者の名称> 公益財団法人京都高度技術研究所

<個人情報保護管理者> 総務部長

<窓口> 総務部

所在: 京都市下京区中堂寺南町134番地

TEL: 075-315-3625(代) / FAX: 075-315-3614

URL: <http://www.astem.or.jp>

※電話受付時間は、平日(月～金※祝祭日を除く)9:00～17:00まで。

※財団の個人情報保護方針の詳細は、

<http://www.astem.or.jp/privacypolicy> でご確認ください。